

# アイボ AIVO

## (愛媛大学ボランティアオーガニゼーション)

### AIVOの基本情報

#### ○人数

3回生…15人(後期で引退)

2回生…30人 1回生…10人

計55人 代表: 理2年 せのしおん

#### ○何をしている団体?

週1回の全体ミーティング(ボランティアの企画など)

1, 2カ月に1回程度のボランティア参加

(部員たちで参加 + 部員以外の大学生の参加を募る)

#### ○活動費 0円

### 後期の修正年度目標

①部員の交流を深め、良い雰囲気を作る。

②多くの需要を満たし、やりがいのあるボランティアを企画する。

③活動内容をSNSで活発に発信するなど、学生にボランティアに親しみを持ってもらえるように働きかける。

### 目標設定理由

①ミーティングにおいて発言をためらう部員も少なからずいるため。

②企画したボランティアが誰のために、どのくらいの人に役立っているのかを把握できていないことが多かったから。

③AIVO本来の目標を達成したいから。

### 前期の年度目標

(1)メンバー同士の交流を深め、参加しやすい雰囲気を作る(達成率:30%)

(2)活動体制を整える(達成率:60%)

(3)企画を実施まで持っていく

(達成率:70%)

### 後期の活動計画

・週1回のミーティング  
(ボランティアの企画、評価と反省)

・ボランティアの実行  
(清掃、献血、寄付、子ども食堂など)

・活動情報の発信、ボランティアの告知

### 前期の活動概要

#### ○前期の活動

7月 清掃ボランティア(22人)

献血ボランティア(8人)

寄付ボランティア(12人)

8月 海岸清掃ボランティア(13人)

9月 子ども食堂ボランティア(8人)



▲ 寄付BOX(図書館2F)



▲ 児童館ボランティア



▲ 農業ボランティア



▲ 清掃ボランティア



▲ 子ども食堂  
ボランティア

#### ○良かった点

・昨年度に比べてボランティアの回数を増やすことができています。

・寄付ボランティアをきっかけにつながりができ、そこから新たなボランティア(子ども食堂)の参加に繋げることができた。

#### ○課題

・ミーティングに積極的に参加している人とそうでない人がいるなど、部員間の活動に対する熱意の差を感じる場面が多い。

・AIVO本来の目標である、学生にボランティア活動に親しんでもらうということに対するアプローチが弱い。

・清掃に行ったとき、ゴミが少ないことが多数あった。そして、その対策を考えることなく次の清掃を企画するということが起こっていた。

・需要や状況を考えず、とりあえずボランティアへ参加することを繰り返していた。

### 今後の活動方針

ミーティングは全面的に対面で行う。ただ、内容や感染状況によってはオンラインで行う。

また、部員以外の学生にもボランティアの参加を募るなど、活動を活発にしていきたい。

### ★おすすめポイント★

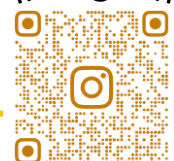
AIVOは学生にボランティアに親しんでもらうことをモットーに、団員が一体となって活動しています!

週に一回開かれるミーティングでは、皆の意見を聞きながら、ボランティア企画の立案や反省をしていきます。

ボランティアに対するPDCAを通して、**いまの自分を成長させたい人**におすすめの団体です!

入部・参加  
待ってるよ~!!

Instagram



Twitter

